Course nun	nber	U-LAS05 20054 LJ31										
•	地域研究概論 Introduction to Area Studies					name and d	Instructor's name, job title, and department of affiliation		Graduate School of Asian and African Area Studies Professor, TAKEDA SHINYA Graduate School of Asian and African Area Studies Professor, FURUSAWA TAKURO Graduate School of Asian and African Area Studies Professor, ITO MASAKO Graduate School of Asian and African Area Studies Professor, KATAOKA TATSUKI Graduate School of Asian and African Area Studies Associate Professor, YAMAGUCHI MOTOKI Center for Southeast Asian Studies Associate Professor, MACHIKITA TOMOHIRO			
Group Humanities and Social Sciences F						Field(Classification)			egions and Cultures(Issues)			
Language of instruction	Japanese				Old group		Group A		Number of c	redits	2	
Number of weekly time blocks	1	Class style			ecture Face-to-face course)			Year/semesters		2025 •	First semester	
perious	Tue.4				All stud	students		Eligible students		For all majors		

#### [Overview and purpose of the course]

東南アジアは、日本との地理的な近接性だけでなく、生態資源の産地としての重要性、社会文化の魅力、政治経済面や歴史的側面の密接なつながりを持っており、日本で暮らす私たちにとって、近年ますます身近な地域となっています。各種メディアが発信する東南アジアの情報も増加していますが、それは東南アジアの固有性、多様性、21世紀における新たな動態について、十分に伝えるものとは限りません。本科目では、東南アジアを舞台に、地域をどう見るのか、そして見えるものの学術的な面白さと意義を、長期にわたるフィールドワークの経験をふまえて講義します。

#### [Course objectives]

東南アジアを訪問したことのない受講生は、東南アジアの固有性と多様性に触れることで、地域研究の面白さと意義を理解し、さらに東南アジアと日本との密接な関係をふまえて、グローバルな環境問題や社会的・歴史的問題を考察します。東南アジアを訪問したことのある受講生は、自身の抱くイメージと研究者の描くイメージとを比較することで、多面的な地域像を構築し、東南アジアと日本の自然環境、社会文化、歴史、政治経済の可能性と問題点への考察を深めます。

#### [Course schedule and contents)]

第1回 はじめに:東南アジアをどう見るのか? 第2回 東南アジアの固有性:人と自然の相互作用1 竹田 東南アジアの固有性:人と自然の相互作用2 第3回 竹田 東南アジアの固有性:人と自然の相互作用3 第4回 古澤 東南アジアの固有性:人と自然の相互作用4 古澤 第5回 第6回 東南アジアの多様性:社会・文化と歴史にみる地域変容1 伊藤 東南アジアの多様性:社会・文化と歴史にみる地域変容2 第7回 伊藤 東南アジアの多様性:社会・文化と歴史にみる地域変容3 第8回 山口 第9回 東南アジアの多様性:社会・文化と歴史にみる地域変容4 山口 第10回 世界の中の東南アジア:21世紀の政治経済を考える1 町北 世界の中の東南アジア:21世紀の政治経済を考える2 第11回 町北 第12回 世界の中の東南アジア:21世紀の政治経済を考える3 片岡

Continue to 地域研究概論(2)

## 地域研究概論(2)

第13回 世界の中の東南アジア:21世紀の政治経済を考える4 片岡

第14回 まとめと期末試験 竹田 第15回 フィードバック 竹田

## [Course requirements]

文系理系を問わず、東南アジアを好奇心旺盛に学びたい人を歓迎します。

#### [Evaluation methods and policy]

平常点(各回コメントシートの提出:20点)と期末試験(レポート試験:80点)に基づいて評価します。

## [Textbooks]

Instructed during class

担当教員全員で作成したものを事前に配布します。

# [References, etc.]

# ( References, etc. )

Introduced during class

東南アジア地域研究関連のリーディングリストを第1回授業時に配布します。

## [Study outside of class (preparation and review)]

毎回、その回の担当教員の教科書内の執筆部分を予習してくることが必要です。 また東南アジア地域研究の目的の一つは、現在の東南アジアを理解することです。日頃から東南ア ジアに関するニュースを積極的に読んだり聞いたりして、授業の理解を深めてください。

## [Other information (office hours, etc.)]